



バトンに託す思いは...

1月が慌ただしく過ぎ、いよいよ2月になりました。3学期はあっという間に過ぎていきます。記録的な寒波に見舞われ、朝は氷点下の日もあり、寒さが厳しい毎日ですが、私から見ればびっくりするくらいに軽装で、元気に運動場を走り回る子どもたちがいます。寒さも子どもたちのエネルギーにはかなわないというところでしょうか。でも、1月早々に奈良県でもインフルエンザの流行注意報が発令され、あすか野小学校でも1月の下旬に学級閉鎖をするクラスが出てきました。うがいや手洗いを励行して予防に心がけていきましょう。

2月2日には新1年生の体験入学があり、かわいらしい瞳を輝かせてあすか野小学校の新しい生活に胸をときめかせる姿がある一方、28日には、卒業していく6年生から思いの詰まった「バトン」を引き継ぐバトンタッチセレモニー（6年生を送る会）があります。1年生から6年生までそれぞれの立場で、あっという間に過ぎてしまう3学期を大切に過ごしていけたらと思います。

また2月は本年度最後の授業参観・懇談会があります。子どもたちの活動の様子を参観していただき、1年間の子どもの成長を担任の先生と共に確認し合いたいと思います。よろしくお願いいたします。

日	曜	行事予定	その他
1	木		
2	金	新1年生体験入学・保護者説明会 委員会活動	
3	土	市内小中学校・奈良西養護学校・奈良養護学校合同作品展(2/2~2/8)	
4	日		
5	月	保健ワールド(4. 5. 6年)	
6	火	葛餅体験(6年)	
7	水	全校朝会	PTA評議委員会
8	木	保健ワールド(1. 2. 3年) 作品展見学(たんぼぼ)	白庭台廃品回収
9	金	クラブ活動最終	
10	土		
11	日		
12	月		
13	火	授業参観・懇談会(1. 2年)	
14	水	ふれあいタイム	
15	木	授業参観・懇談会(3. 4年)	
16	金	授業参観・懇談会(5. 6年)	
17	土		
18	日		
19	月	大縄大会(3. 4年)	あすか野北廃品回収
20	火	大縄大会(1. 2年) スクールカウンセラー来校	
21	水	ふれあいタイム	
22	木	租税教室(6年) ブラバンミニミニコンサート	
23	金	モンゴル体験(2年) 大縄大会(5年)	学校評議員会
24	土		市PTA協議会研究大会
25	日		地域ぐるみ合同交流発表会
26	月	児童集会 大縄大会(6年)	
27	火	おはなし会	
28	水	バトンタッチセレモニー(6年生を送る会)	あすか野南廃品回収

学校評価アンケートへのご協力、ありがとうございました。

昨年12月には、「学校評価アンケート」にご協力いただきありがとうございました。詳細につきましては、裏面に掲載させていただきました。このアンケートは、次年度の学校経営方針策定の参考にさせていただきました。より良いあすか野小学校の教育を創造するために実施させていただきました。お寄せいただいたコメントについても職員一同で共有し、学校運営に必要なご意見については慣例にとらわれることなく検討させていただきます。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

さて、アンケートの中で保護者の皆様の評価は、6項目中5項目で「そう思う」「おおむねそう思う」と回答いただいた割合が80%前後と高く、肯定的なご意見が多かったです。ただ、「友達や先生、地域の人たちに自分から進んであいさつをする」という項目はその数値が65%と比較的低くなっています。また教員の回答も57.7%となっています。これに対して児童のあいさつにかかわる項目の回答では86%の児童が「そう思う」「だいたいそう思う」と回答しており、保護者の皆様や教員とは少しずれが生じています。登下校の見守りをしていただいている地域の方々からは「子どもたちがよくあいさつしてくれるようになりました」とのお声をいただいたり、子どもたちはあいさつ運動の取組などを通して、あいさつの意識が高まっている反面、どの場面でも同じようにあいさつするという部分で不十分などがあるというところでしょうか。引き続きあいさつの指導を

していきたいと思えます。児童の回答で「日記や作文を書くことは楽しい」と「話し合い活動で自分の意見を言うことができた」が71%と75%と比較的低くなっていますが、昨年と同じ質問と比べるとどちらも若干数値が高くなっています。書くことの取組や全員参加の授業づくりを学校として進めた成果と思われる。ただ、「廊下歩行」については、達成できたと感じている児童の割合が昨年とほぼ同じで、教員の数値も61.5%と低くあすか野小学校の課題と感じています。全ての学年の児童が「正しい廊下歩行」を呼び掛けるなどして、意識の向上を目指しましたが、引き続き重点課題として取り組んでいく必要があると思われまます。

また、来年度取り組んだらよいと思うものについてもお答えいただきました。回答の中で多かったのが、体験学習、あいさつ、外国語活動、読書となっており、さらに取組を進めていきたいと思えます。なお、「安全で安心な体制づくり」を回答された方が昨年度より特に増加しました。事故やケガ等不測の事態が起こらないよう危機管理を徹底するとともに、学校において児童が安全で安心して生活できる環境を作っていきたいと思えます。貴重なご意見ありがとうございました。

昔の生活のお話を聞きました



1月12日、3年生が社会科で老人会の方をお招きして、老人会の方が子ども達と同じぐらいの年齢のときには、どのような生活をされていたのかなどのお話を聞き、今の自分たちの暮らしとの違いや移り変わりを学ぶ学習をしました。昔、使っておられた黒電話やカメラ等を見せていただきながら当時の暮らしについてお話を聞きました。初めて見聞きすることも多く、子どもたちにとってたいへん興味深い時間になりました。ありがとうございました。



地震が起こったとき～避難訓練～



1月30日の昼休みに、地震を想定した避難訓練を実施しました。今回は先生が先頭に立って集団で避難するというのではなく、子どもたちがそれぞれの場所で、揺れに対してどのように対応するのか、また、どの経路を通して避難するのかを自分で判断する訓練でした。担任からの事前の指導を思い出しながら、子どもたちはケガなく全員が無事に避難することができました。普段からもしもの時のことを考えておくことの大切さを知る機会になりました。



学校保健委員会を開催しました



1月25日(木)学校保健委員会を開催しました。学校保健委員会は子どもたちの健やかな成長を願って、本校児童の健康診断の結果やケガの状況等を知っていただき、その中から明らかになった課題を解決するために学校とご家庭が協力して、子どもたちにどのような働きかけができるのかをともに考える場として毎年開催しています。本年度は「子どもの成長と食育～成長期の今、摂ってほしい食事」というテーマで、生駒市学校給食センター栄養教諭の鈴垣恵子先生にお話をいただきました。主食、主菜、副菜をバランスよく食べることや朝食の大切さなどを教えていただきました。また、学校医の大塚先生からは食事がきちんとできているようでも偏りがあり、鉄欠乏や貧血になっている子どもがいるなどのお話をいただきました。本校養護教諭からは健康診断から見える本校児童の実態やチョモランマ体操の取組、保健委員会の活動等についての報告がありました。ご参加いただいた保護者の皆様、PTA学校保健実行委員会の皆様ありがとうございました。

うなぎ博士、塚本先生が出前授業

日本大学生物資源科学部海洋生物資源学科教授で、世界一のうなぎ博士としても知られる塚本勝巳先生が4年生に出前授業をしてくださいました。(塚本先生が執筆された「ウナギの謎を追って」は国語の教科書にも掲載されています。)うなぎの生態やうなぎクイズ、稚魚のレプトセファルスのことや研究船白鳳丸による調査航海の様子などについてお話いただきました。子どもたちは海洋生物学の世界的な権威である塚本先生のお話を興味深く熱心に聞いていました。研究の楽しさや科学の魅力を知る大変良い機会になりました。

